

ダムを提供しています！

項目	早明浦ダム	池田ダム
本日0時の貯水率(%)	68.3	68.5
本日0時の貯水率(千m ³)	118150	40569
本日0時の貯水率(連日値)	68.3	62.9
本日0時の貯水率(連日値)	62.6	62.9

ダム管理情報へのアクセス方法

電話（音声による自動応答）
0883-72-5711

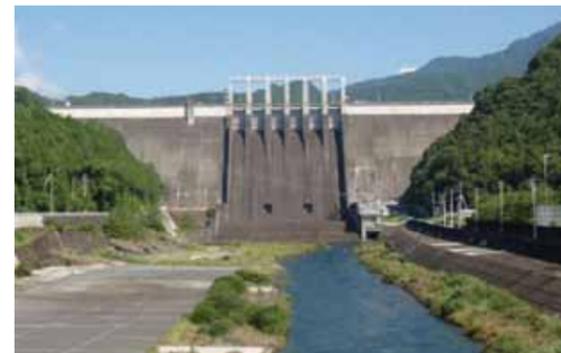
インターネット
<http://www.ikesou.jp>

iモード
<http://www.ikesou.jp/imode/index.html>



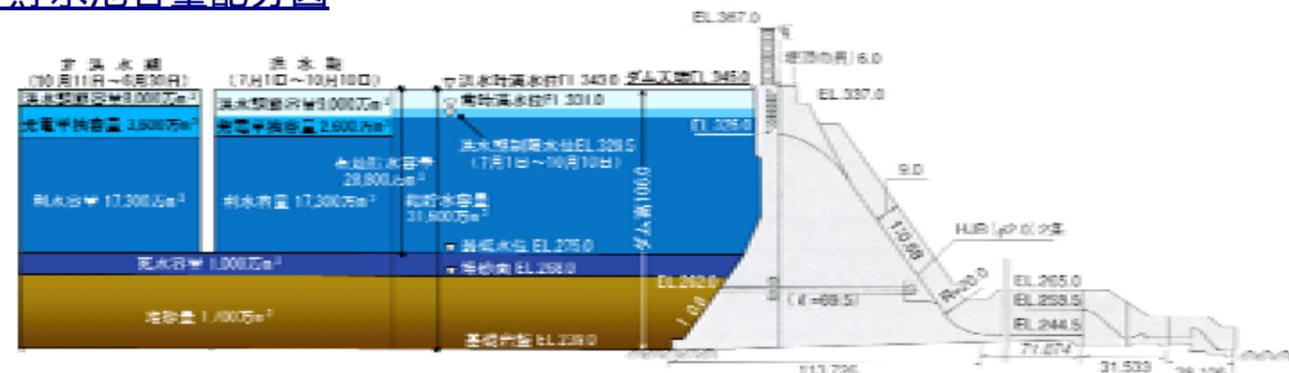
早明浦ダム

吉野川の地域と水をつなぎます！
- 地域とともに水資源機構 -



平成20年洪水時 (H20.9.2)

貯水池容量配分図



早明浦ダム・高知分水管理所

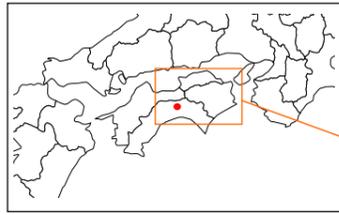
高知県土佐郡土佐町田井6591-5
0887-82-0485

池田総合管理所ホームページ
<http://www.water.go.jp/yoshino/ikedaj>

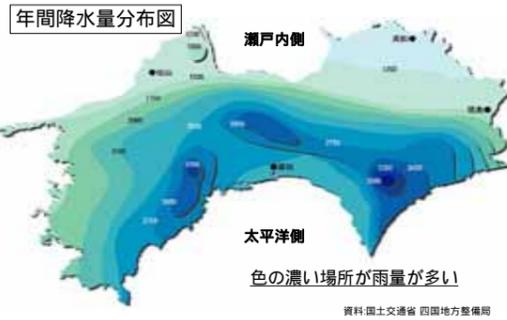
早明浦ダムの概要

1. ダムの位置

早明浦ダムは、高知県土佐郡土佐町田井と高知県長岡郡本山町吉野にまたがり、吉野川の河口から約140kmの位置にあります。



吉野川の概要
 吉野川は、その源を高知県瓶ヶ森に発し、四国の中央をほぼ東西に流れ、紀伊水道に注ぐ総延長194kmの我が国でも有数の大川です。
 吉野川の流域は四国四県にまたがり、流域面積は3,750km²で四国全体の面積の約20%を占めています。



なぜ？早明浦ダムが造られたのか。

瀬戸内側は、1年間に1,250mm程度しか雨が降らず水不足に悩まされてきました。これとは反対に太平洋側の高知県では、1年間に3,000mm以上の降雨があるとともに台風の襲来等により洪水災害に悩まされていました。

問題を解決するための計画

雨がたくさん降る地域にダムを造り、洪水をせき止めて、吉野川沿いの洪水災害の軽減を行う。
 ダムに貯えた水を水道用水、工業用水、農業用水として雨の少ない地域へ送り水不足を解消させる。
 その計画の1つとして、「早明浦ダム」が造られました。

2. ダムの諸元



河川名	吉野川水系吉野川
所在	左岸 高知県長岡郡本山町吉野
	右岸 高知県土佐郡土佐町田井
目的	1.洪水調節 2.流水の正常な機能の維持 3.新規用水の供給 4.発電(水力発電)
型式	重力式コンクリートダム
堤高	106m
堤頂長	400m
堤体積	118万7千m ³
流域面積	472km ² (汗見川取水55km ² 含む)
貯水池面積	7.5km ²
総貯水容量	3億1千6百万m ³
有効貯水容量	2億8千9百万m ³
着手/完成	1967(昭和42年)/1975(昭和50年)

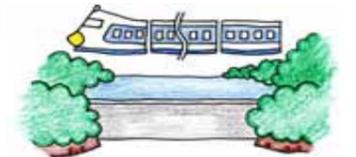
ダムの高さ

106m
27階建てビルに相当します。



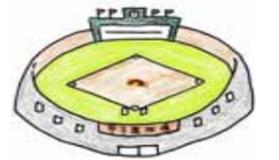
ダムの長さ

400m
新幹線16両分と同じ長さです。



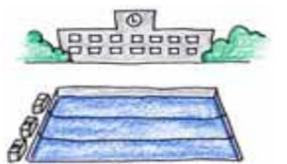
貯水池面積

7.5Km²
甲子園球場の約188倍の面積です。



総貯水量

3億1千6百万m³
学校の25mプール約75万杯分です。

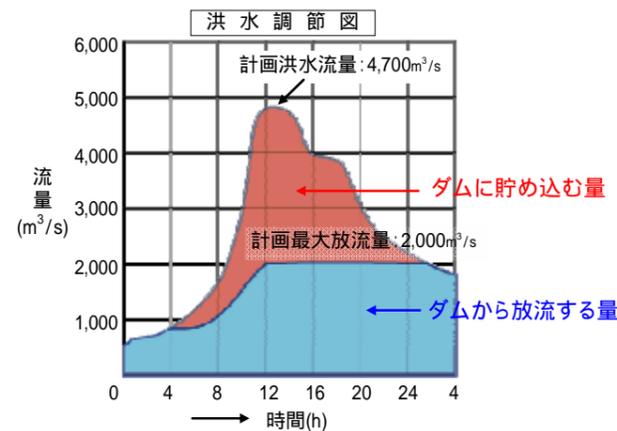


早明浦ダムの目的

早明浦ダムは、吉野川水系における水資源開発の中核をなすもので、洪水調節、流水の正常な機能の維持、新規用水の供給を行うとともに発電を行う多目的ダムです。

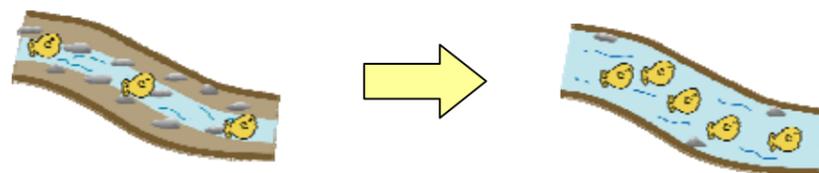
1. 洪水調節

台風などによる洪水時に下流の洪水被害を軽減します。



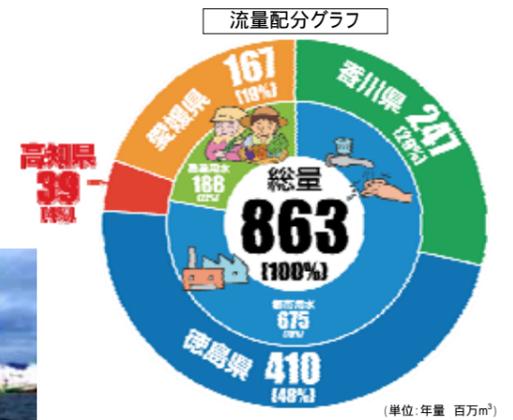
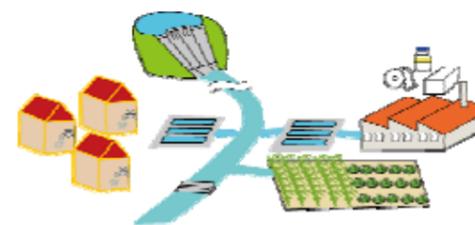
2. 流水の正常な機能の維持

河川環境を維持するため、いつも川に水が流れるようにします。雨が降らず日照りが続いたときでも、魚などの生物が生活でき、ダムを造る前から川の水を利用していた人達が困らないように、ダムに貯めた水を計画的に流します。



3. 新規用水の供給

ダムに貯めた水を計画的に流し、四国四県の農業用水・都市用水(水道、工業)の新規用水として使用します。ダムから流した水は他のダムや水路を通じて各家庭や工場などへ送られます。



4. 発電(水力発電)

ダムに貯めた水を流すときの、水の落差を利用して電気をつくります。

- 有効落差: 最大7.6m
- 使用水量: 最大6.5m³/s
- 運転開始: 昭和47年2月7日
- 最大出力: 42,000kw
- 事業者名: 電源開発株式会社

